



## 各常任委員会の審査の一部を紹介します

第5号議案 平成31年度志木市一般会計予算

**Q** 新庁舎建設に関し、仮庁舎を建設する場合と市内の公共施設等を利用して、仮庁舎を設けた場合ではどのくらい予算が削減できたのか。

**A** 仮庁舎をプレハブ建設しないことで、約4億3,000万円削減することができた。

**Q** 消防団の第4分団車庫が新設されるとのことであるが、具体的にどのようなになるのか。

**A** 消防団車両の車庫と詰所という形で、建物は平屋で、車が2台入るスペースを確保する。

**Q** 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種勧奨はどのように行っていくのか。

**A** 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種勧奨はどのように行っていくのか。

**A** 65歳の方全員に通知を出し、70歳から5歳刻みの方に対しても、未接種者には全員通知する予定である。

**Q** 仮庁舎が志木駅前周辺に移るが、ふれあい号の運行ルートはどのようになるのか。

**A** 仮庁舎が志木駅前周辺に移るが、ふれあい号の運行ルートはどのようになるのか。

**Q** 宗岡地区の方々の足の確保のという観点も踏まえ、現市役所の停留所は、新庁舎の工事の関係もあるため、危険ではない場所に移動をする。

**Q** 館保育園に通う子どもたちの異動先はどのようにになるのか。

**A** 館保育園に通う子どもたちは、志木第二小学校に隣接している民間保育園に全て引き継ぐ。

## 市民文教都市常任委員会

第5号議案 平成31年度志木市一般会計予算

**Q** 志木駅東口ペデストリアンデッキを活用してのにぎわいづくりの事業概要と市内商店の活性化については、どのように取り組んでいくのか。

**A** 「とれたて！しきの野菜市」として年6回、志木駅東口のペデストリアンデッキやいろは親水公園での野菜の販売を行う。また、アートによるにぎわいづくりとして、ペDESTリアンデッキを滞留起点とし、市内商業施設から、いろは親水公園までのにぎわいづくりのため、人の流れの創出を進めていく。

**Q** 「複数・少人数指導体制」に向けて、導入の経緯と概要はどのようなものか。

**A** 塾講師の採用については、個々の学力に

応じたより専門的な指導のスキルを持った民間の力も借りながら児童・生徒の学力向上を目指す観点から導入する。これからの時代に求められる学校教育のあり方も含めて、次期学習指導要領が本格実施となる前に少人数学級編制を検証していきたいとのことから、検討委員会を組織し、何度も議論を重ねてきた。

第15号議案 志木市生産緑地地区の区域の規模に関する条例

**Q** 生産緑地地区の面積要件の緩和により、対象者にはどのようなメリットがあるのか。

**A** 今までの面積要件である500平方メートルの場合、面積要件を欠くと生産緑地を解除しなければならぬが、面積要件の緩和で生産緑地の維持が可能となるメリットがある。

## 総務厚生常任委員会